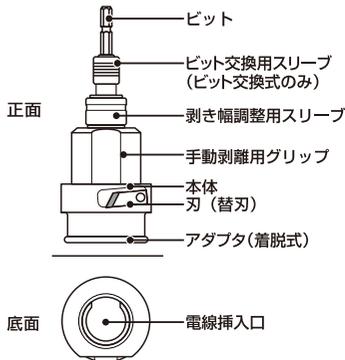


ムキソケD IV ビニル絶縁電線用 皮剥きソケット取扱説明書

各部の名称



・ご使用前に必ずお読みください。・本書は大切に保管してください。

1 用途 600V IV, EM IE/F, HIV, KIV電線の絶縁体剥離用ソケット
※KIV確認済メーカー：フジクラ、東日京三

2 特長 アダプタを交換する事で、複数種類の電線を剥離可能。
更に充電式ドリルドライバーで素早く絶縁体を剥がせ、ナイフやカッターと比べ安全に作業ができます。手動で使って頂いても、握りやすく楽に剥離できます。
※電気ドリル及びインパクトドライバーでは使用しないでください。

3 仕様

品名	適合電線サイズ(mmφ)	適合電線種類				剥き幅(mm)	ビット交換	推奨ドリルドライバー※2	適合替刃※3
		IV	HIV	EMIE/F	KIV※1				
ムキソケD IV 14	14	○	○	○	○	10~33	-	3.6V/7.2V	ムキソケD 替刃 S 刃の裏面に S の刻印
ムキソケD IV 22	22	○	○	○	○	12~35			ムキソケD 替刃 M 刃の裏面に M の刻印
ムキソケD IV 38	38	○	○	○	○	13~36		14.4V	ムキソケD 替刃 L 刃の裏面に L の刻印
ムキソケD IV 60	60	○	○	○	○	18~33			
ムキソケD IV 100	100	○	○	○	○	19~34			
ムキソケD IV 150	150	○	○	○	○	27~42			
ムキソケD IV 200	200	○	○	○	○	33~48			
ムキソケD IV 250	250	○	○	○	-	36~51	○		
ムキソケD IV 325	325	○	○	○	-	36~51			

対応交換ビット：市販のインパクトドライバー用 6.35mm六角軸ビット (溝位置 13mm) 55mm 以上をご使用ください。

※3 適合替刃：品名 / 品番

サイズ	品名	品番
S	ムキソケD 替刃 S	DK-MSDKBS
M	ムキソケD 替刃 M	DK-MSDKBM
L	ムキソケD 替刃 L	DK-MSDKBL

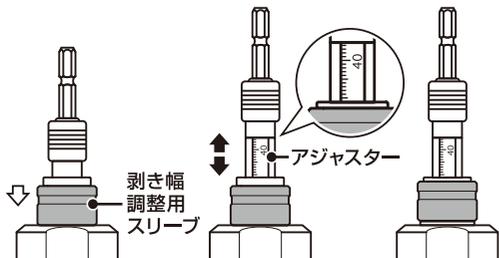
※3 ムキソケD 専用刃です。
600V CV線剥離用ムキソケの替刃は使用しないでください。

- 警告**
- ※1 KIVは一部メーカーの一部サイズにて、芯線と絶縁体の間に押え巻テープが使用されている場合があります。押え巻テープは剥離できませんのでナイフ等で除去してご使用ください。
 - ※2 クラッチがきかない状態でご使用ください。

危険 ・本製品には通電性があります。
・活線では使用しないでください。

警告 ・使用時は安全保護の為、保護メガネ、作業手袋を着用してください。

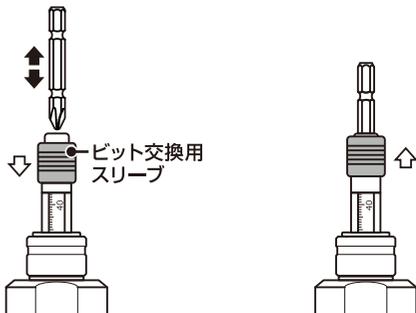
4 被覆剥き幅調整方法



- 剥き幅調整用スリーブを押し下げたままアジャスターを必要な長さに合わせます。(アジャスター部に刻まれている目盛を参考にしてください)
- 剥き幅調整用スリーブを戻し、アジャスターの位置を固定します。

警告 ・調整をする場合は本製品を電動工具から取外してから作業してください。

5 ビットの交換方法 (200、250、325のみ)



- ビット交換用スリーブを押し下げたままビットを交換します。
- ビット交換用スリーブを戻し、ビットが抜けない事を確認します。

警告

- ・メーカーによってビットの溝(ムキソケ固定部分)の幅や長さの違いがありますのでビットを差し込んでから、軽く引っ張り抜けないことを必ず確認してください。
- ・トーションビットは軸が折れやすいので、使用しないでください。

6 アダプタと刃取付け位置の選択

使用する電線種類により、アダプタと刃の取付け位置を選択します。

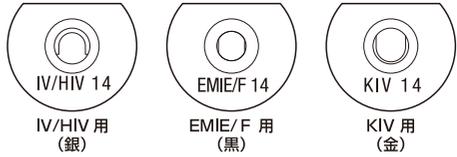
【適合表】

電線の種類	アダプタ色	刃取付け位置
IV	銀	回転止めの 反対側
HIV		
EMIE/F	黒	
KIV※4	金	回転止め側※5

※4 250mmと325mmのみKIVは非対応です。

※5 250mmと325mmのみ刃の取付け位置は1つになります。

【アダプタの種類】



IV/HIV 用
(銀)

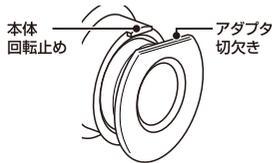
EMIE/F 用
(黒)

KIV 用
(金)

① アダプタの選択

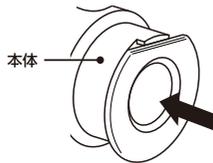
上の【適合表】をご確認頂き、使用する電線に対応したアダプタを取付けてください。

アダプタの取付け方

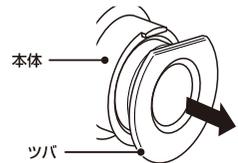


本体の回転止めにアダプタの切欠きを合わせてください。

アダプタの取外し方



アダプタをカチッと音がするまで、本体側に押し込んでください。

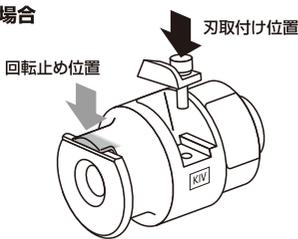


アダプタのツバを持って、本体側と反対方向に引き抜いてください。

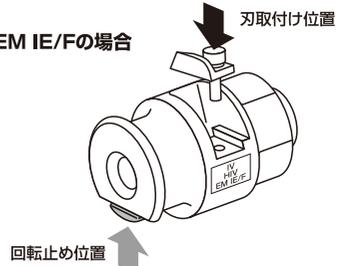
② 刃の取付け位置の選択

上の【適合表】をご確認頂き、使用する電線に対応した刃取付け位置に刃を取付けてください。
刃の取外し方、取付け方は【7.刃の交換方法】をご参照ください。

KIVの場合



IV,HIV,EM IE/Fの場合



- ・本製品を電動工具から取外してから刃やアダプタの取付け・取外しを行ってください。
- ・アダプタが本体へ確実に挿入されている事を確認してください。
- ・アダプタを取付けた状態で電動工具を振り回さないでください。アダプタが外れて怪我や工具破損の恐れがあります。
- ・上の【適合表】以外の組合せで使用すると導線に傷がつくまたは導線が切れる恐れがあります。

7 刃の交換方法

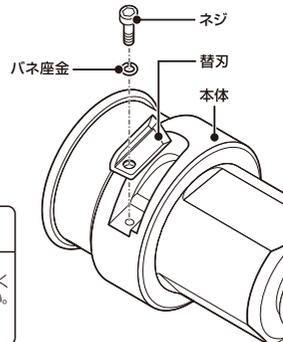
- ① 市販の六角レンチ(対辺2.5mm)でネジを緩め、ネジとバネ座金を外し刃を取外します。
- ② 替刃を本体の溝にはめ込み、替刃の穴と本体の穴位置を合わせます。
- ③ ネジにバネ座金を通し六角レンチでネジを締め込みます。



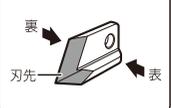
警告 本製品を電動工具から取外してから作業してください。



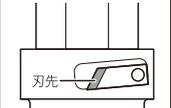
- ・替刃はサイズに合ったものをご使用ください。
- ・交換時はネジを適切な力で確実に締め、問題なく絶縁体が剥がせることを確認して作業してください。
- ・交換後の刃は安全に廃棄してください。
- ・刃は研がないでください。



替刃の表と裏

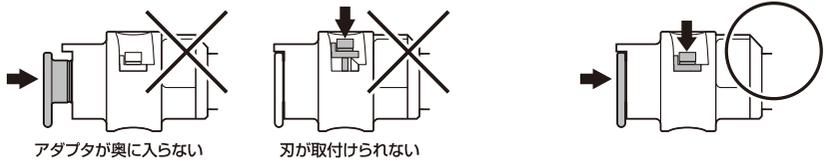


正面図



替刃の表側を正面にし、刃先が内側に向くように替刃と本体の穴位置を合わせる。

8 アダプタと刃の取付け確認



刃の取付け位置とアダプタの組み合わせが適切でないと上図のようにアダプタを押し込んでも刃に当たり、奥まで入らない、又は刃を取付けようとしても、アダプタに当たり、取付けられません。刃が欠ける可能性がありますので、無理に取付けしないでください。

刃の取付け位置とアダプタの組み合わせが適切ですと上図のように本体とアダプタのツバが接触するまで入ります。

9 使用方法

使用前にご確認ください



注意

- ・使用前に破損や変形の有無を確認し、異常がある場合は、事故の原因になりますので使用しないでください。
- ・電線仕様は製造メーカー、製造ロットにより微妙に異なるため、端材等で剥離状態を確認してご使用ください。
- ・適合電線以外では使用しないでください。
- ・剥離しようとしている電線に対してアダプタの種類と刃取付け位置が合っているか確認してください。
- ・使用前に本体内部に絶縁体削りカス、異物がないことを確認してください。削りカス、異物が残っていると剥離できない場合があります。
- ・刃のネジに緩みがないことを確認してください。
- ・刃の摩擦や欠けによって絶縁体がうまく剥がせない場合は刃を交換してください。
- ・手動でご使用頂く場合、手が剥き幅調整用スリーブに掛かると剥き幅が変わる事がありますのでご注意ください。

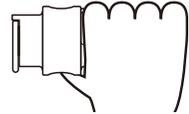
① 本製品を電動工具へ取付けます。



警告

- ・ビットが電動工具へしっかりとロックされたことを確認してください。

手動でご使用頂く場合は、下図のように手動剥離用グリップを握んでください。



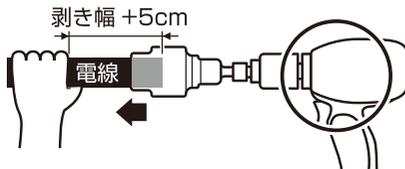
② 電線端を電線挿入口へ差し込みます。絶縁体を剥離したい幅に5cm足した付近をしっかりと握り、電線に対して真っ直ぐに本製品を差し込んでください。※6



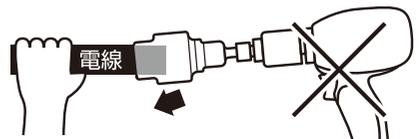
注意

- ・電線の切断面を円形に整えてから作業してください。円形でない場合、電線の挿入が困難となり、挿入できたとしても芯線に傷が付く恐れがあります。然り線が著しく広がった電線は補正できませんので、使用しないでください。※7
- ・電線が真っ直ぐな状態でご使用ください。電線が曲がった状態で使用すると芯線を傷つける原因となります。※8

※6 電線端の電線挿入口への差し込み方法。

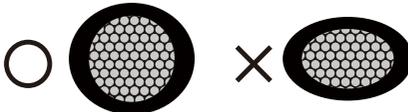


電線に対して真っ直ぐにムキソケを差し込んでください。



電線に対してムキソケが曲がった状態で差し込まないでください。

※7 電線の切断面



電線の切断面を円形に整えてから作業してください。

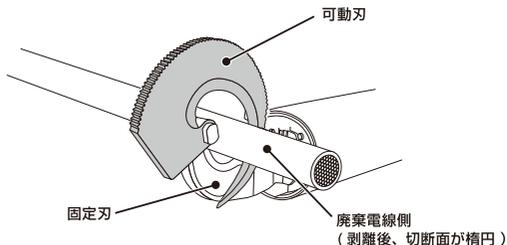
※8 電線の状態



電線が真っ直ぐな状態でご使用ください。

【切断時の電線が楕円形になりやすい場合】

ラチェット式の電線切断工具をご使用の場合は、固定刃側の切断面が楕円形になりやすくなります。



③ 右回りに回転させて電線に本製品を軽く押し付けると絶縁体を剥き進みます。



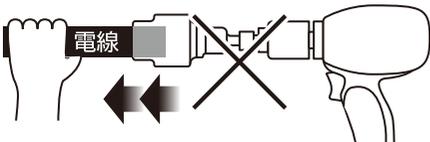
- ・電動工具をご使用時、電線に本製品を強く押し付けしないでください。ビットや刃の破損に繋がり、怪我の原因にもなります。※9
- ・使用時は絶縁体などが勢い良く飛び出す場合がありますので、ご注意ください。

- ・電動工具をご使用時は、本製品に触れないでください。怪我につながる恐れがあります。
- ・また、衣類等を巻き込まないよう注意してください。
- ・電動工具をご使用時は、手首に負荷がかからないように電動工具を低速で始動させてください。



- ・作業中にビットが折れて本製品が落下する恐れがありますので、下に人や壊れやすいものがないことを確認してください。
- ・電動工具は、高回転モードでご使用頂くと、剥けない場合がありますので、低回転モードにてご使用ください。

※9 電動工具使用時の注意



電線に本製品を強く押し付けしないでください。

④ 絶縁体が切り取られたら完了です。



- ・電線に被覆が残った場合は、電気ナイフ等を使用し取り除いてください。
- ・本製品内部に絶縁体削りカスが残った場合は本製品を電動工具から取り外し、ペンチ・ニッパー等で取り除いてください。



- ・KIVは強く押し付け過ぎると銅線の先端が開いてしまう事がありますので、剥き終わり直前に押し付ける力を弱めてください。
- ・周囲温度が極端に低い場合は、電線が硬くなりますので、剥けない場合があります。
- ・芯線への傷付防止のため、絶縁体剥離後は速やかに回転を止めてください。

10 その他



- ・幼児の手の届かない所に保管してください。
- ・本体の電線挿入口と絶縁体排出口には指を入れないでください。



- ・事故の原因になりますので、修理・分解・改造をしないでください。
- ・改良のため、予告なく仕様、外觀等を変更する場合があります。
- ・作業後は汚れや水分を取り除き電動工具から取り外して保管してください。